

【資料2】

日本ディスクロージャー研究学会第17回研究大会プログラム

2018年5月19日(土)～20(日)
横浜市立大学金沢八景キャンパス

5月19日(土)

■自由論題報告 (10:00～11:30)

○第1会場「会計ディスクロージャーに関する実証研究」

司会：石川 博行 (大阪市立大学)

第1報告 「企業の地理的分布が連結企業内の実体的利益調整に与える影響」

山田 哲弘 (中央大学)

第2報告 「退職給付に係る負債が社外取締役の導入に与える影響」

野間 幹晴 (一橋大学)

第3報告 「地方銀行単体の業績指標の価値関連性」

海老原 崇 (武蔵大学)・赤塚 尚之 (滋賀大学)

○第2会場「会計ディスクロージャーと会計情報システム」

司会：奥田 真也 (名古屋市立大学)

第1報告 「有価証券報告書における定性情報の固定化～XBRLデータによる『対処すべき課題』と『事業等のリスク』に関する測定～」

金 奕群 (早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程)

第2報告 「非上場及び中小企業の情報開示方法(システム)に関する一考察」

高市 幸男 (日本薬科大学)

第3報告 「日本のIFRS任意適用企業における企業行動についての考察～情報利用の観点から、「有価証券」「退職給付会計」「のれん」に注目して～」

松山 将之 (日本政策投資銀行)・竹村 光広 (有限責任監査法人トーマツ)・

小河 孝之 (有限責任あずさ監査法人)・下山 益里佳 (有限責任監査法人トーマツ)

理事会 (11:30～12:20)

■会員総会・学術賞授賞式 (12:20～13:10)

■特別プロジェクト最終報告（13：20～14：00）

○第1会場 「法廷会計学の創成—会計不正理論と実務教育との融合—」

司会：亀川 雅人（立教大学）

主査：中島 真澄（金沢学院大学）

○第2会場 「銀行業と銀行・企業間関係の会計制度と実証」

司会：木村 史彦（東北大学）

主査：梅澤 俊浩（北九州市立大学）

■統一論題シンポジウム（14：30～16：00）

テーマ：「ガバナンスがディスクロージャーに与える影響」

司会・パネリスト：円谷 昭一（一橋大学）

パネリスト： 岩崎 拓也（関西大学）

染谷 浩史（金融庁総務企画局企業開示課）

■最優秀論文賞受賞記念講演（16：10～16：50）

「新規参入企業に対するプレアナウンスメントの戦略的効果」

三輪 一統（神戸大学）・椎葉 淳（大阪大学）

司会：太田 康広（慶應義塾大学）

■統一論題ディスカッション（17：00～17：50）

テーマ：「ガバナンスがディスクロージャーに与える影響」

司会・パネリスト：円谷 昭一（一橋大学）

パネリスト： 岩崎 拓也（関西大学）

染谷 浩史（金融庁総務企画局企業開示課）

■懇親会（18：00～20：00）

5月20日（日）

新旧合同理事会（9：30～10：50、かながわ県民センター）